

# 東京大学アタカマ天文台（TAO）プロジェクト進捗報告

2024/03 光赤天連総会

- 口径6.5m光赤外線望遠鏡をアタカマの世界最高地点（5,640m）に建設
- 赤外線の広い窓を活用し、宇宙論から太陽系まで広範なサイエンスを実施
- 次世代を担う大学院生・若手育成を重視し、サーベイ・萌芽的研究を推進

## □ 現地建設工事

- 山頂施設であるエンクロージャー・山頂運用棟の建設工事は2024年3月におおむね完成
- エンクロージャー回転試験も合格（2023/10）
- 電気機械設備工事も進行、山頂発電機による電気供給・ネットワーク接続も開始



ALMAサイトから見たChajnantor山全景と山頂拡大図（2023/11撮影）



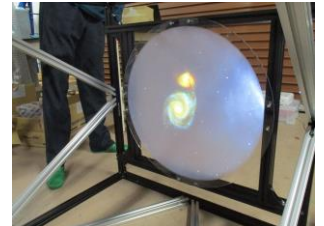
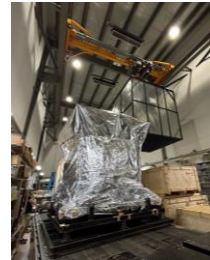
上から  
• 観測運用棟実験室  
• 山頂発電機 350kVA x2  
• 発電設備



TAOサイトの施設の様子（2023/12/24撮影）

## □ 望遠鏡・観測装置

- 望遠鏡はすべてチリに到着済み、組み立て待ち
- MIMIZUKU・NICEは天文センター三鷹で調整中
- SWIMSもハワイから戻り改良作業中
- 可視撮像分光装置の開発を開始
- 光学調整用の超広視野スクリーンカメラを準備中



(左) 天文センター三鷹に戻ったSWIMS  
(上) 超広視野スクリーンカメラ

## □ 科学観測準備

- 国内枠科学諮問委員会での議論で国内枠利用の詳細を決定
- 2023/12/24にTAO国内枠説明会を開催。オンライン含め130名程度が参加
- 2024/3の日本天文学会で特別セッションを実施
- プロジェクト時間やチリ時間などの利用方法も議論が進む
- 2024/4/30にはサンチャゴでTAOサイト完成記念式典を開催



2023/12の国内枠説明会の様子